



塩っ子だより

—し:しっかり学習する子, お:思いやりを表せる子, つ:強い心と体をもつ子—

アイデンティティを強く

アイデンティティ (Identity) という言葉を聞くことがあります。難しいことばなのですが、辞書で調べてみますと、「自己存在感」とシンプルに置き換えられています。

現在、日本の若者は諸外国の若者と比較して、「自分に自信をもてない」という調査結果を見たことがあります。

今後の社会はグローバル化や情報化がより進展し、これからの子どもたちは、日本だけでなく世界のなかで活躍していくことが増えるかもしれません。その際には、自分の個性を発揮し自信をもって活躍してほしいと願っています。

学校生活のなかでは、授業や係活動、委員会活動、クラブ活動、学級活動など、さまざまな学習や活動のなかで、強くアイデンティティをもってほしいと思います。授業で目を輝かせている子どもたち、委員会活動で一生懸命に活動している子どもたち、真剣に読書をしている子どもたち、額に汗して動いている子どもたち等、このような子どもたちの姿を見ると、私はうれしくなります。学校生活のなかで、ぜひ、自分の存在価値を実感してほしいと願っています。こうした実践こそが、自分の自信へとつながり、これからの自分磨きにつながっていくと信じています。

3学期始業式

少し日にちが経ちますが、1/7 (月)、3学期がスタートしました。始業式では、代表の子どもたちが冬休みの思い出やがんばったこと、新年のちかいなどを発表しました。

私は、4つのことを伝えました。



これまで成長した自分に「自信」をもって、さらにステップアップしていってくれることを願います。

租税教室がありました

1/10 (木)、長浜税務署から講師に来ていただき、6年生が税の意義や役割などについて、学びました。子どもたちは、講話を聞いたり、ワークショップをしたりして「税」に対する知識を深めることができました。



d			
			伊
			伊
d			
d			伊